

韓国農林畜産食品部プレス（2019年6月21日16時25分付け）

ラオスにおけるアフリカ豚コレラ発生に応じて、国境検疫強化

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEBSJTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMdc3OCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNlJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QlMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QlMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQlM0QlMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZyb3clM0QxMCUyNg%3D%3D>

（以下、機械翻訳などによる仮訳）

□ 農林畜産食品部（長官イゲホ、以下農食品部）は、'19年6月20日、ラオスのサラワン省において、アフリカ豚コレラ（ASF）がラオスで初めて発生したことが国際獣疫事務局（OIE）に報告されたことを受けて、ラオスからの就航路線のX-ray検査、検疫探知犬投入、税関合同一斉検査など国境検疫を強化したと発表した。

※ラオス政府、国際獣疫事務局（OIE）に'19年6月20日報告（サラワン省、7件）

○ ラオス政府によると、アフリカ豚コレラがサラワン（Saravane）省の豚農場で発生しており、ASF発生農場の飼養豚の殺処分、移動制限及び消毒など防疫措置を取っていることが分かった。
※ラオスから生きた豚、豚肉と豚肉加工品などの韓国への輸入は禁止

○ 農食品部は、ラオスのASF発生以前（3月18日）から、ラオス、ミャンマー及びタイかた入国する旅行者の貨物のX-ray検査、探知犬投入（12→20便/週）、税関と合同一斉検査を拡大して行ってきた。（一斉検査：仁川空港3～5便/週、金海空港4便/週）

※ラオスへの就航路線：仁川 - ビエンチャン（19便/週）、金海 - ビエンチャン（4便/週）

□ 農食品部は、ラオスでのアフリカ豚コレラが発生を受けて、不法畜産物搬入時に課される罰金を初回違反時500万ウォン、最大1,000万ウォンで適用されるとし、ラオスで入国する旅行者が畜産物を携帯して搬入しないように注意を促した。

※罰金対象者：10件（中国人3人、ウズベキスタン人3人、カンボジア人2人、タイ人1人、モンゴル人1人）

□ 中国、ベトナム、ラオスなどのアジア諸国でのアフリカ豚コレラが持続的に広がっているため、今後も侵入防止のため、国内に入国する旅行者が海外の畜産物を持って来ないように、事前の広報を強化する一方、旅行者携帯品検索活動を継続強化していく予定ある。